



練馬区立開進第一中学校
開進一中だより

平成28年度 第7号 平成28年11月29日発

油断は禁物 常に備えを

校長 古山真樹

11月22日早朝、福島県沖を震源とする地震が発生し、福島県、茨城県を中心に震度5弱を観測、続いて津波警報が発せられました。東京も震度3、「3・11東日本大震災」が思い出され、ゾッとしました。さらに24日の雪にも驚かされましたね。

さて、今年を振り返ると、なんと言っても4月の熊本県、10月の鳥取の大きな地震が思い出されます。同時に自然災害として、鹿児島県の桜島、熊本県の阿蘇山の爆発的噴火が続き、夏には多くの台風が日本列島にやってきて様々な被害をもたらされました。

日本は地震国、火山国、台風の通り道とわかっていても、自分自身が被害を受けないとついつい大丈夫だという気持ちになってしまいます。改めて各ご家庭での備えを確認していただくことと君たち中学生もいざとなったらどうすると考えておいて欲しいと思います。「自助・共助・公助」という言葉があるとおりに、君たち中学生は地域にとって大きな戦力です。まず自らの無事、家族の安否を確認したら、隣近所、地域の救済活動に少しでも役に立たなければなりません。そういう気持ちをもって災害に備えておいて欲しいと思います。12月10日には本校で避難拠点訓練が行われます。物資と心の備えのきっかけづくりにしましょう。

今月の言葉

為せば成る

正式には、「^な為せば成る、^な為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」という言葉。きれいに短歌形式になっています。これは、江戸時代中期、米沢藩(山形県米沢市)の藩主であった上杉鷹山が家臣に詠み与えた歌ということで有名です。意味は、「やればできる、やらなければなんだってできない。できないということは、人がきちんとやっていないからだ」となります。要するに、「どんなことでも強い意志をもってやれば必ずできる。できないのは本当のやる気になってないからだ。」という意味です。厳しい言葉ですね。上杉鷹山が藩主になった当時の米沢藩は20万両(今で言えば150億円)ほどの借金があったそうです。そこで財政再建にあたった鷹山は、徹底した節約政策をとると同時にこの太平の世の中では農民に耕作を任せるだけでなく、武士も作物を作れと奨励し、自ら城内で作物づくりを率先して行ったそうです。その効果があっただいぶ財政が良くなってきたそうです。しかしその途上で天明の大飢饉が起きました。そこで鷹山はせっかく節約してきた金を惜しげもなく使い、新潟、酒田から普段の2倍から5倍に値上がりした米を1万俵も買い付け、領民に分け与えたということです。近隣の藩では30万人もの餓死者を出した藩もありましたが、米沢藩は1人も飢え死にすることはなかったという逸話があります。領民から尊敬されるのは当然ですね。そしてまた長年に渡って質素節約を実行し、見事に藩の財政を立て直したそうです。自らも一汁一菜、お粥を食べてしのぎ、前途ある若者のために「興譲館」という藩校を創設しました。このような人が「為せば成る～」の言葉を残したのですから重みがありますね。後にアメリカのケネディ大統領やクリントン大統領が最も尊敬する日本人の政治家として上杉鷹山の名前を挙げたというのもその功績から充分にうなずけることです。

改めてこの言葉をかみしめましょう。先日の期末考査も本当にやるだけのことを精一杯やっただいしょうか、よく振り返ってみてください。何事も「為せば成る」の精神でがんばっていきましょう。

◇◇◇◇◇ 調査報告と分析 ◇◇◇◇◇

3年 全国学力・学習状況調査

平均正答率

	国語A (主として知識)	国語B (主として活用)	数学A (主として知識)	数学B (主として活用)
本校	80.7	74.7	67.3	48.8
東京都	76.9	68.6	63.5	45.6
全国	75.6	66.5	62.2	44.1

数値を見ればわかるとおり、全国平均、東京都の平均を上回っていることはうれしいことです。しかしながら、分野別に見たり（これは各教科の先生方が既に分析をしています）、個人個人見れば課題はあるはずで。単に数値が良いからと満足はしないでください。

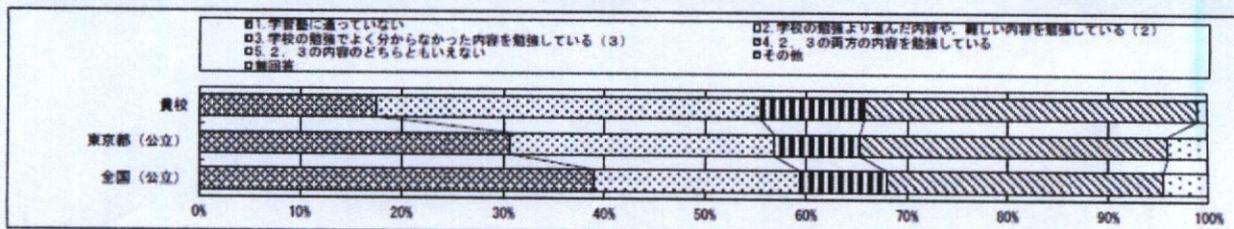
さて、同時に行われたのが、学習状況、学習を支える意識、生活状況のアンケート調査です。ここには明らかにいくつかの問題点が浮かび上がりました。これは全部で85項目のアンケート調査です。すべての数値は示せませんが傾向をお知らせします。

生活の様子

「学校の授業以外の学習時間（塾も含む）」は、3時間以上と答えた者が5%、2時間以上が31.6%、1時間以上が32.1%で、全国・東京都を10%以上も上回る数値でした。開一の3年生はよく勉強をしていると言えます。すばらしいことです。しかしながら、「学習塾に通う生徒」「就寝時間が遅い生徒」も大幅に平均を上回り、塾で夜遅くまで勉強し、寝る時間が遅くなっている生徒が多いという状況も見取れます。疲れ過ぎには充分気をつけて欲しいものです。集中力が散漫になったり、これからの時期風邪の原因にもなったりします。

学習時間が多い分、「1日にどのくらいテレビやビデオをみますか」「1日にどのくらいテレビゲームをしますか」という質問に対しては、全国平均よりも5%以上少ない数値でした。これは喜ばしいことだと思います。

質問番号	質問事項									
(16)	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	17.6	38.0	10.2	33.2	1.1				0.0	0.0
東京都（公立）	30.6	26.2	8.5	30.7	3.9				0.0	0.1
全国（公立）	38.9	20.5	8.6	27.5	4.4				0.0	0.1

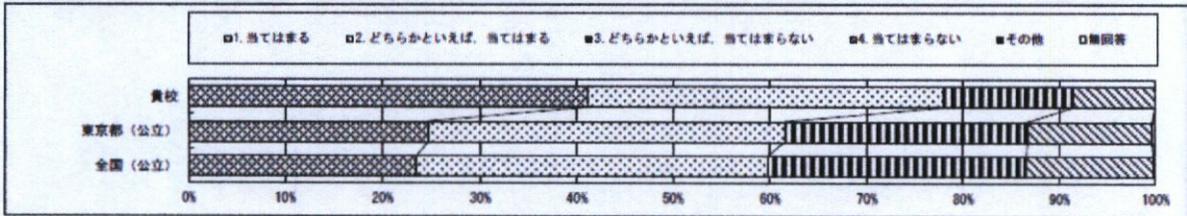


学校生活

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問には、「そう思う」と答えた生徒が都・全国より12%少ない数値でした。「どちらかといえばそう思う」を含めても5%ほど少ない数値です。しかしながら、「学校で友達に会うのは楽しいと思いますか」は、全国と変わりません。「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか」は逆に全国平均を10%上回っています。運動会や合唱コンクールでのがんばりが目に浮かびます。また、「先生はあなたの良いところを認めて

くれていると思いますか」で「当てはまる」と答えた生徒は全国平均より5%上回っていました。

質問番号 (61)	質問事項									
	国語の勉強は好きですか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	41.2	36.9	13.4	8.6					0.0	0.0
東京都(公立)	24.7	36.8	25.2	13.0					0.0	0.3
全国(公立)	23.5	36.3	26.8	13.2					0.0	0.2



学習そのものの質問には、国語の勉強は大好きで自分の考えを述べたり書いたりすることが好きで、文章を書くことが苦にならず読書好きな面がうかがえました。すべて全国平均より5%~10%上回っていました。国語の影響からでしょうか、総合的な学習の時間での調べ学習、話し合い活動、発表する機会にも好んで取り組んでいる姿が浮かんできました。これからますますコミュニケーションが大切にされる世の中で、大いに自信をもってほしいと思います。

しかしながら、数学にはやや苦手感をもっているようです。

考え方・気質

まず消極的で自分に自信がもてない心の様子が浮かび上がってきました。

「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか」「自分にはよいところがあると思いますか」では、平均より低い数値となりました。また、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」も低い数値でした。自信がないから行動力も今一步ということでしょうか。しかしながら、「将来の夢や目標をもっていますか」は良い数値でした。「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」には、肯定的で、正義感を備えていることがわかります。ぜひ自分に自信をもって行動的であってほしいものです。

2年 東京都 児童・生徒の学力向上を図るための調査

平均正答率

	国語	社会	数学	理科	英語
本校	73.9	60.5	61.1	57.3	60.4
東京都	70.7	57.7	56.4	54.8	55.4

数値はご覧のとおりですが、質問紙調査の結果を見てみましょう。3年生の全国調査とは設問数は少なく内容も違いますから、簡単な比較はできません。

まず日頃の学習時間ですが、「しない」と「30分未満」で全体の68%に達しています。これは3年生の結果とは大きな差があります。もう2年生もしっかりと意識を高くもって勉強していかないとたいへんです。うれしい結果を見ると、「朝食は必ず食べる・たいてい食べる」が96%で、生活の基本はできているようです。「学校の規則は守っている」が89%、「自分の住む地域や社会をよくしたい」が85%、「将来、人の役に立つ仕事がしたい」が81%でした。しかしながら、「自分の将来に希望をもっている」は65%、「自分は大切な存在だと感じている」が、62%でした。やはり自身に自信がもてない人、先行きになんとなく不安を感じている人が多い状況でした。確かに中学生の時期は自己有用感をもつことが難しい時期ではありますが、様々な教育活動の場面で、この数値を伸ばす取り組みが大切だと感じています。

文化発表会を終えて

実行委員長 主任教諭 若松由美子

今年度の文化発表会のスローガンは、「輝け！開一の生徒（ホシ）」でした。
2週間という短い準備期間の中、放課後になると校舎のいたるところで展示や舞台の準備に一生懸命に取り組む生徒の姿がとても印象に残っています。

とくに文化発表会実行委員は15名という少ない人数でパンフレットや委員会だよりの作成、舞台設備の準備や司会進行、展示会場の表示の作成、事後アンケートの集計といった様々な仕事に取り組んで文化発表会の成功の原動力となってくれました。

全校生徒に実施した事後アンケートでは「さすが3年生！」という声が多く聞かれ、力作揃いの上級生の作品や発表は下級生に「自分もがんばろう」という気持ちを抱かせ、大きな刺激となったようです。

また、1・2年生の作品や発表にも努力のあとがよくあらわれていて「もっと時間をかけて一人一人の作品をじっくりと鑑賞したかった」という声も多く聞かれました。

今年度の文化発表会は「楽しかった」「すごかった」「やりがいがあった」という思いをたくさんの生徒が共有し、とても充実した一日となりました。

開進第一中学校の生徒の「輝き」も十分に発揮できたと思います。

生徒のみなさん、たくさんの感動をありがとう。

これから先も一層この「輝き」を大きく広げていけるように弛まず努力を重ねていきましょう。



ふれあい月間

11月は今年2回目のふれあい月間です。

いじめや不登校、暴力行為等の問題行動への取組状況を総点検するとともに、問題行動の未然防止や早期発見・早期対応等につながる具体的な取組を推進することを目的としています。

全生徒が仲良くお互いに思いやりをもって行動できるように取組の充実を図ってまいります。

平成28年度 『税の標語』練馬東関税会 入選

練馬東関税会会長賞 「子育てと 老後を支える 消費税」 2年 玉置 莉子さん

「第10回 自分で作る朝ごはんコンクール」 練馬区中学校教育研究会食育部主催

銅賞 2年 佐藤 らら さん (33校、4,414作品の中から選ばれました)

(練馬区役所本庁舎1階アトリウムで11月26日～12月2日まで展示されています。)

秋の叙勲

瑞宝双光章

第2地区委員会会長 窪寺 孝 様(本校27代 PTA 会長、平成2年度)が受賞なさいました。

お知らせいたします。おめでとうございます。